



令和元年10月11日

中部地方整備局

名古屋港湾空港技術調査事務所

「民間技術交流会」の聴講者募集

－ 施工、土木資材の最新技術を紹介 －

1. 概要 中部地方整備局名古屋港湾空港技術調査事務所では、民間事業者等により開発された有用な技術を管内の港湾・海岸整備において積極的に活用していくため、その技術のプレゼンテーションをしていただく場として「民間技術交流会」を開催しております。第21回交流会では、施工及び土木資材に関する最新の技術発表を予定しています。その開催に当たり、建設関係に従事されている方の聴講を広く募集します。
2. 日時 令和元年11月14日(木) 13時30分～16時30分
3. 場所 イオンコンパス名古屋駅前桜通口会議室 Room D+E+F
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-25-3 大橋ビルディング4階
4. 発表技術 ①D・BOX 工法【株式会社ホクコン】
②グラスグリッド【株式会社アーケノハラ】
③PDF 工法(フロート式プラスチックボード・ドレーン工法)【株式会社不動テトラ】
④炭素繊維複合材ケーブル CFCC【東京製綱インターナショナル株式会社】
⑤ジャケット式栈橋改修工法【日鉄エンジニアリング株式会社】
※各発表技術の概要は別紙参照
5. 募集要項 募集対象 : 建設関係者
募集人数 : 80名程度
参加費用 : 無料
応募締切 : 令和元年10月25日(金) 17時
応募方法 : ◆下記の必要事項を記載したメールを申込先まで送信して下さい(メールの表題に「民間技術交流会」と記載願います)。
①お名前・ご所属・役職
②普段連絡が取れるお電話番号
③CPDS 受講証明書 要否
◆メール1通につき応募者1名とします。
(応募者が複数である場合は非選定とします)
◆申込先 (事務局)特定非営利活動法人 伊勢湾フォーラム
E-mail : contact@isewanforum.org

選定方法 : 応募数が募集人員を上回る場合は、応募締切後、抽選のうえ決定します。

当選通知 : 令和元年10月28日(月)に、当選者のみメールで返信します。

6. その他 本交流会は、CPDS(継続学習制度)認定講習会です(3ユニット付与)

7. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾空港タイムス、港湾新聞社、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

8. 問合せ先 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
技術開発課 村上(むらかみ)、高須(たかす)
連絡先 : TEL 052-612-9984 FAX 052-612-9477

【会場周辺案内図】





第21回 民間技術交流会 発表技術一覧(発表順)

	発表技術	発表者	技術概要
1	D・BOX工法	(株)ホクコン	D・BOX工法は、内部拘束具を備えた大型特殊土のう袋内に砕石等を投入し、袋と内部拘束具の張力を利用して粒子間摩擦力を増大させ、土構造体としての強度増加と形状保持を可能とし、地盤に設置したD・BOX上面を加圧・貫入することで局所的圧密を促進し、直下にある土粒子を拘束しながら過剰間隙水圧を集めて消散させ、地盤支持力の増加を図ることで、地盤補強効果、液状化抑制効果、振動低減効果等の多様性をもつ工法です。
2	グラスグリッド	(株)アークノハラ	グラスグリッドとは、道路のひび割れ(クラック)の発生を抑制するシート状の素材です。アスファルト表層の下に敷設することでひび割れの発生を遅延させることができます。ひび割れの発生を遅延させることができるため、道路の長寿命化にも貢献でき、結果、道路のメンテナンスにかかる費用も抑制することができます。
3	PDF工法 (フロート式プラスチックボードドレーン工法)	(株)不動テトラ	PDF工法はプラスチックボードを排水材とした圧密促進工法の1つで、従来のサンドドレーン(SD)工法などでは、施工が困難とされていた超軟弱地盤である泥土や浅水域でも施工可能で適用範囲が広いことが特徴です。施工方法は専用小型フロート上または台船上にレールを敷設し、打設機を横行させて鉛直ドレーン(人工排水材:プラスチックボード)を打設します。圧密促進により、沈下に要する時間(工期)の短縮が可能です。またさらなる低コスト化として、サンドマットの代わりに水平ドレーンを用いることも可能です。
4	炭素繊維複合材ケーブル CFCC®	東京製綱インターナショナル(株)	従来の鉄筋コンクリート構造物は、塩害地域において腐食等耐久性が課題となり維持管理に多大な労力とコストを要してきました。しかしこの炭素繊維複合材ケーブルCFCCを補強材や緊張材に使用することにより、長期にわたり腐食しない構造物が実現可能となるので耐久性の優れた港湾インフラ作りが期待できます。
5	ジャケット式栈橋改修工法	日鉄エンジニアリング(株)	老朽化した直杭式横栈橋(上部工コンクリート塩害・鋼管杭腐食等)の改修について、従来工法では、現地で型枠設置・コンクリート打設を行うため栈橋供用停止期間が長期化する傾向にあります。ジャケット式栈橋改修工法は、主要工種を工場製作によるため供用停止期間短縮のメリットがある他、柔軟な鋼管トラス配置による杭の補強や上部工の軽量化が可能な工法です。

(発表順)

第21回民間技術交流会

民間事業者等により開発された有用な技術を管内の港湾・海岸整備において積極的に活用していくため、「技術交流会」を開催します。
その開催に当たり、建設関係に従事されている技術者の聴講を募集します。

聴講
無料

対象者：
建設関係技術者
定員：80名

日時 令和元年 11月14日(木) 13:30~16:30 (12:30~受付)

会場 イオン compass 名古屋駅前・桜通口会議室 Room D+E+F
名古屋市中村区名駅3-25-3 大橋ビルディング4F

申込方法 聴講ご希望の方は、下記アドレス又は右記QRコードよりメールでお申込み下さい。

申込期間 10月11日(金)~10月25日(金)

申込先 【事務局】 特定非営利活動法人 伊勢湾フォーラム
メールアドレス：contact@isewanforum.org

必要事項 メール件名に「民間技術交流会」と記載し、
①お名前 ②ご所属会社 ③連絡が取れるお電話番号 ④CPDS受講証明【要・否】
をご記入下さい。

※メール1通につき応募者1名(複数の場合は非選出)。応募多数の場合は抽選となります。
なお、10月28日(月)に、当選者のみメールで返信致します。

本交流会は、CPDS(継続学習制度)認定講習会です(3ユニット付与)



ここから↑
コンテンツ申込QR

■スケジュール

13:30~13:40 第1部 開会
主催者挨拶/名古屋港湾空港技術調査事務所長

13:40~16:20 第2部 技術発表【5題】
①D・BOX工法【株式会社ホクコン】
②グラスグリッド【株式会社アークノハラ】
③PDF工法(フロート式プラスチックボードドレーン工法)【株式会社不動テトラ】

~休憩~

④炭素繊維複合材ケーブル CFCC®【東京製網インターナショナル株式会社】
⑤ジャケット式栈橋改修工法【日鉄エンジニアリング株式会社】

16:20~16:30 第3部 閉会



【会場周辺アクセスマップ】



アクセスQR↓



~会場へのアクセス~

・名古屋駅 桜通口より徒歩5分程
ユニモール地下街8番出口スグです。

問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
技術開発課 <担当:村上・高須>
〒457-0833名古屋市中村区東又兵衛町一丁目57-3 ☎052-612-9984
<http://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/>

